

# 気付きから 支援への流れ

一人で悩まないで、学校全体で

## 気付く 支援が必要であると気付く教師の目が必要です

### 実態把握

活用  
できる  
資料

- ・「わたしたちにきづいて」\*1
- ・「わたしはこんな子」\*2
- ・「ここまでわかります」\*3

### 特性理解

教育  
相談

・「生育歴」・「家庭環境」・「諸検査(WISC-Ⅲなど)」

情報の  
整理

- 児童生徒が困っていることは
- 児童生徒のよいところや学習・行動特徴は
- 保護者が困っていることや家庭での児童生徒の様子は
- 保育園や幼稚園での様子は



## 校内委員会における具体的な支援計画の検討・策定

### 支援内容検討

Plan

・特別支援教育コーディネーターが連絡調整を行います

教育支援プラン  
(個別の教育支援計画・  
個別の指導計画)の作成

- 個別の支援が必要か、その内容は、誰が
- 一斉学習における支援方法やTTによる支援方法は
- 全職員の共通理解と指導分担事項は
- 専門機関との連携事項は
- 研修の必要性や研修内容は

活用  
できる  
資料

・「指導法例示ソフト」\*5 ・「教育支援プラン」の書式\*6

## 学校全体における取組

・情報交換をしながら進めます

### 支援・指導

Do

- 個別指導による支援
- 学年、学級集団での支援
- 全職員による共通した支援
- 専門機関と連携した支援
- 支援状況の確認と修正(ケース会議)

## 校内委員会における支援計画の評価・見直し

・振り返ります

### 評価・分析

Check

教育支援プラン  
(個別の教育支援計画・  
個別の指導計画)の評価

- 児童生徒の様子はどう変わったか
- 専門機関との連携が図れたか
- 支援内容や方法は適切だったか

## 気付きの深まり

改善・更新

Action